

山口県立学校施設長寿命化計画

-山口県学校施設個別施設計画-

令和3年3月

山口県教育委員会

山口県立学校施設長寿命化計画

—目次—

1	計画の背景・目的等	1
	(1)背景と目的	
	(2)計画の位置付け	
	(3)対象施設	
	(4)計画期間	
2	学校施設の実態	3
	(1)学校施設を利用する児童生徒数の推移	
	(2)学校施設の整備状況	
	(3)老朽化の状況	
	(4)今後の維持更新コスト	
3	整備方針	6
	(1)建物の長期使用と長寿命化改修	
	(2)生徒数に応じた施設数や建物規模	
	①高等学校	
	②総合支援学校	
4	今後の整備計画(令和3年度～令和12年度)	9
	(1)改築	
	①実施順位	
	②実施方法	
	(2)長寿命化改修(中規模・大規模改修)	
	①実施順位	
	②実施方法	
	(3)今後の事業費試算	
5	計画の継続的運用方針	11
	(1)推進体制の整備と情報の活用	
	(2)県立高校将来構想を踏まえた計画の見直し	
6	参考資料	12

1 計画の背景・目的等

(1) 背景と目的

県立学校施設は、その多くが昭和40年代から50年代にかけて整備され、全体の約8割が築30年を超えるなど老朽化が進んでいます。

そのうち昭和40年代に整備された施設は、今後10年で一斉に更新時期を迎えるため、事業の集中及び整備費の急増が予想されます。

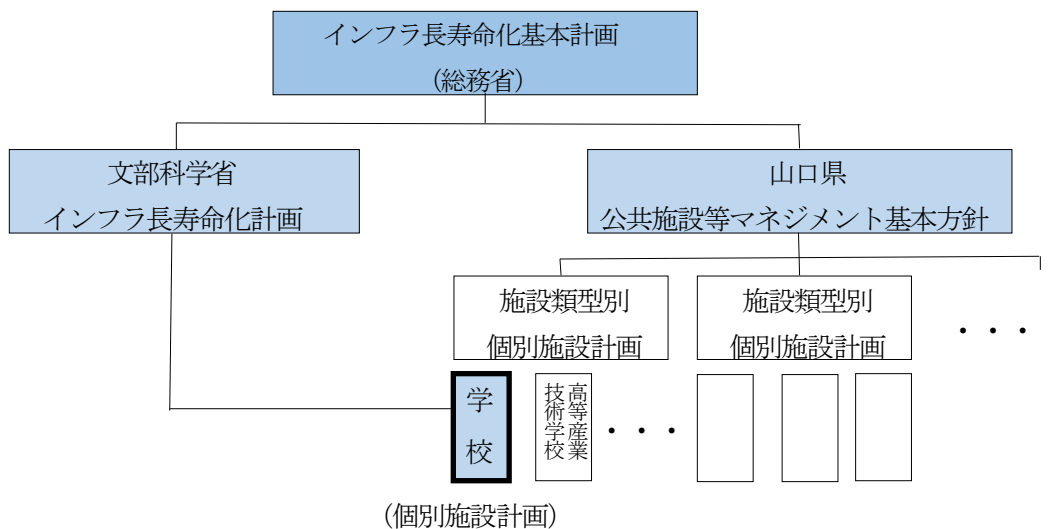
厳しい財政状況の中、中長期的視点に立って計画的に施設整備を実施することにより、施設を可能な限り長期間使用し、今後の施設整備費の抑制・平準化を実現しながら学校施設に求められる機能を確保する必要があります。

これらを踏まえ、施設の長期使用を可能にするための改修を適切に実施すること等により、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減と予算の平準化を図ることを目的として「山口県立学校施設長寿命化計画」を策定します。

(2) 計画の位置付け

この計画は、「山口県公共施設等マネジメント基本方針」において策定するものとされた県立学校の施設整備の方針を定めるものです。また、「文部科学省インフラ長寿命化計画」における「公立学校施設に係る個別施設計画」に位置付けられます。

【計画の位置付けイメージ】



(3) 対象施設

山口県教育委員会が所管する中学校、中等教育学校、高等学校、総合支援学校を対象とします。

(4) 計画期間

計画期間は、令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)までの10年間とします。

2 学校施設の実態

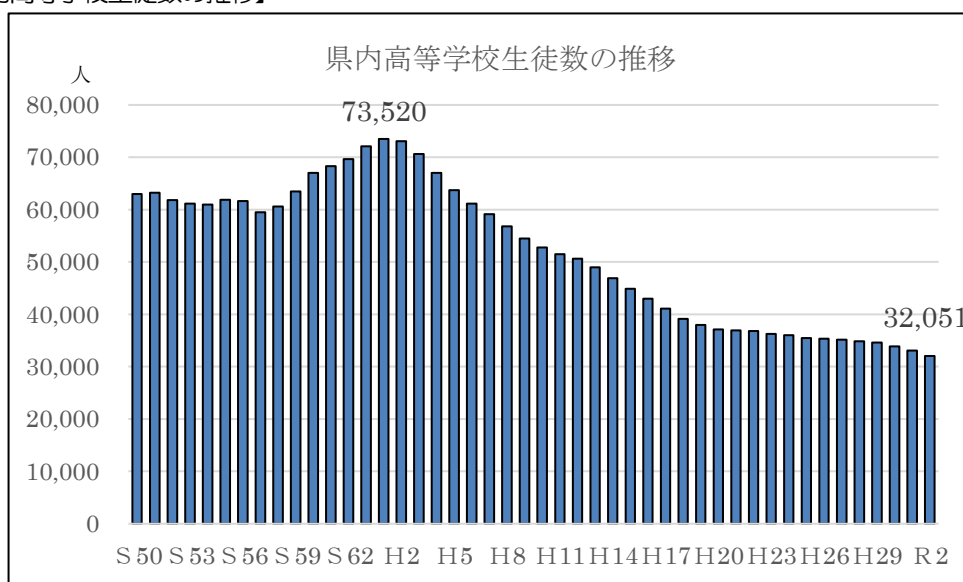
(1) 学校施設を利用する児童生徒数の推移

県内の*高等学校生徒数は、平成元年(1989年)の73,520人を直近のピークに、令和2年(2020年)5月1日現在では32,051人に減少しています。

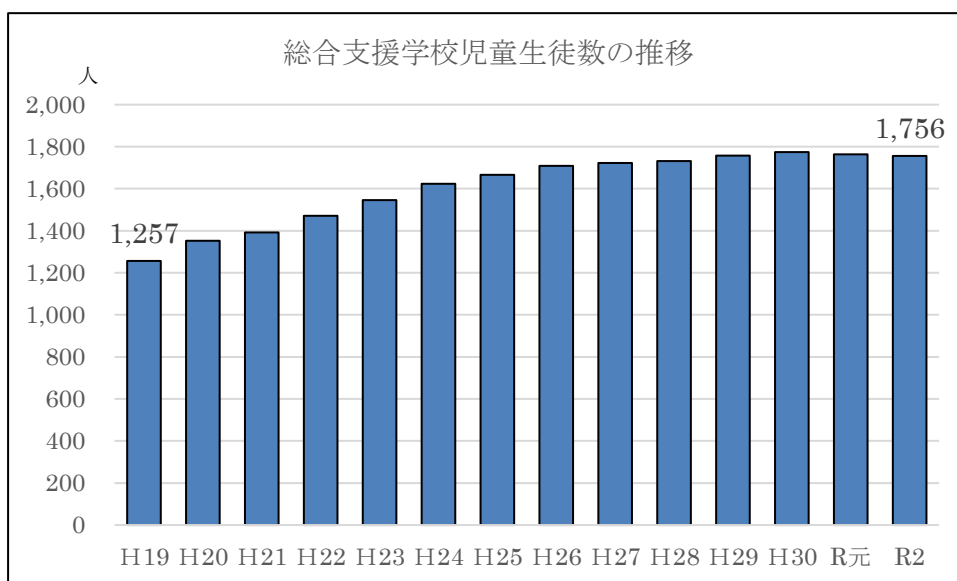
一方で、*総合支援学校の児童生徒数は平成19年(2007年)の1,257人から令和2年(2020年)には1,756人に増加しています。

※県統計分析課「令和2年度 教育統計調査結果報告書」

【県内高等学校生徒数の推移】



【総合支援学校児童生徒数の推移】



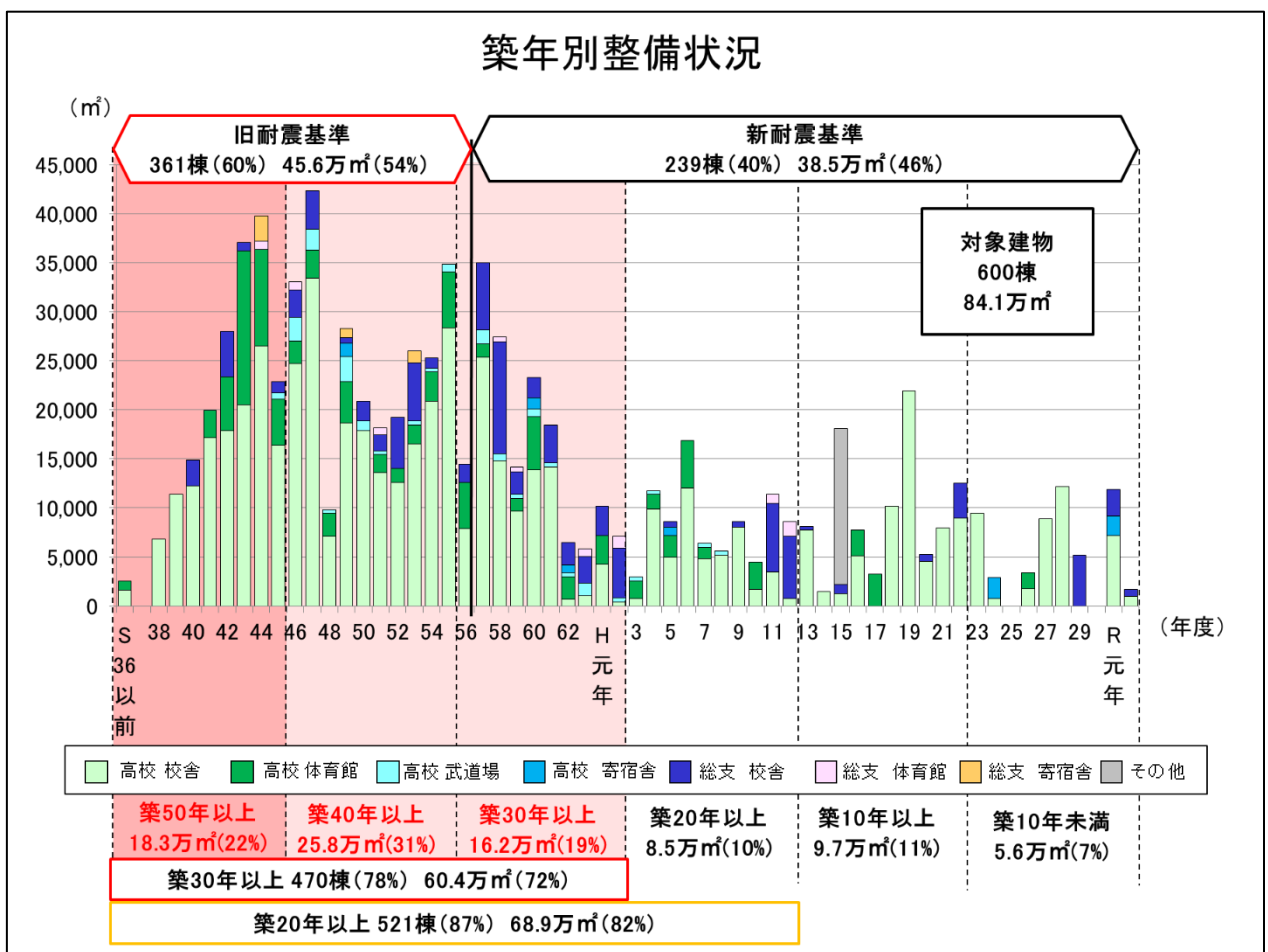
(2) 学校施設の整備状況

県立学校施設は、高等学校 60 施設(本校 48 校、分校 8 校、分校舎 4 校舎)、中等教育学校 1 施設、総合支援学校 14 施設(本校 12 校、分校 1 校、高等部校舎 2 校舎)の^{*}計 75 施設で、計画の対象となる建物は^{**}600 棟、延べ床面積は 84.1 万^m²です。

※高森みどり中学校は高森高等学校に含む。下関総合支援学校高等部は下関双葉高等学校に含む。

※※小規模な建物(倉庫、部室、便所、概ね 200 ^m²以下の建物等)を除く。

【県立学校施設の築年別整備状況 (基準 2020 年)】



※旧耐震基準の建物:昭和56年5月31日以前に建築確認を得て建設された建物

新耐震基準の建物:昭和56年6月1日以降に建築確認を得て建設された建物

(3) 老朽化の状況

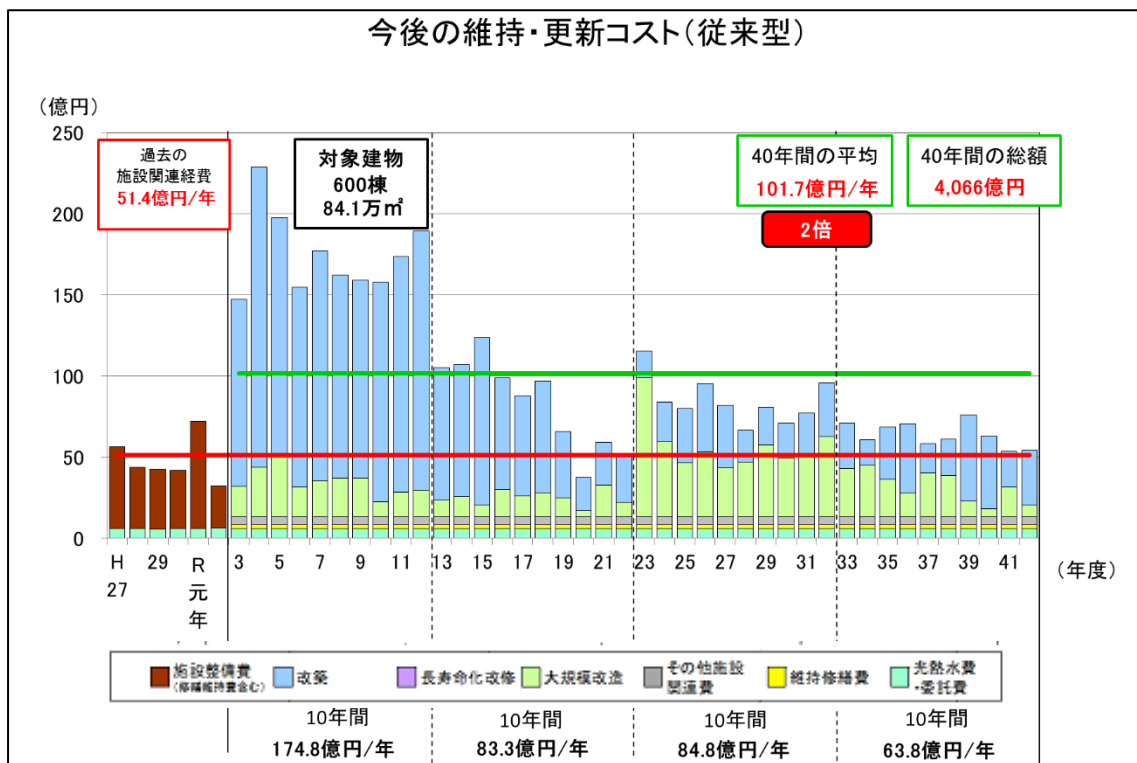
県立学校施設は昭和40～50年代の児童生徒急増期に整備されたものが多く、老朽化の目安とされる築30年以上の建物が約8割(470棟 60.4万㎡)を占めています。また、築50年以上の建物が136棟 18.3万㎡あり、老朽化対策の実施が喫緊の課題となっています。

(4) 今後の維持更新コスト

築後50年を目途に建替える従来の施設整備を続けた場合、今後40年間の事業費は維持管理費を含め4,066億円となる見込みです。

特に今後10年間は、建築年度の偏りにより、改築が必要となる施設が集中することから、年あたりの事業費は174.8億円に上る見込みであり、これまでの施設関連経費(51.4億円/年)の3倍を超えています。

【築50年で建替える場合の今後40年間のコスト試算】



※試算条件 (文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」付属 Excel ソフトを使用して試算)

- ・築50年で現状と同じ延床面積で改築、改修を行うものと設定
- ・改築、長寿命化改修は2年に工事費を均等配分、大規模改修は単年度で計上
- ・改築及び長寿命化改修の実施年数より古い建物は、今後10年以内にそれらを実施するものとし、該当コストの10分の1の金額を10年間計上
- ・プール、グラウンド及び共用設備等の修繕費は、「その他施設関連費」として過去の実績額を計上

3 整備方針

(1) 建物の長期使用と長寿命化改修

これまでは、築50年前後での改築(建替え)を前提とし、老朽化が顕著となる築後30年前後の時期に、劣化が著しい部分の応急的な改修を実施してきました。

しかし、鉄筋コンクリート造の校舎の場合、適切なタイミングで改修を行うことで物理的な耐用年数を延ばすことが可能とされていることから、建物の目標使用年数を[※]80年として施設整備を計画します。

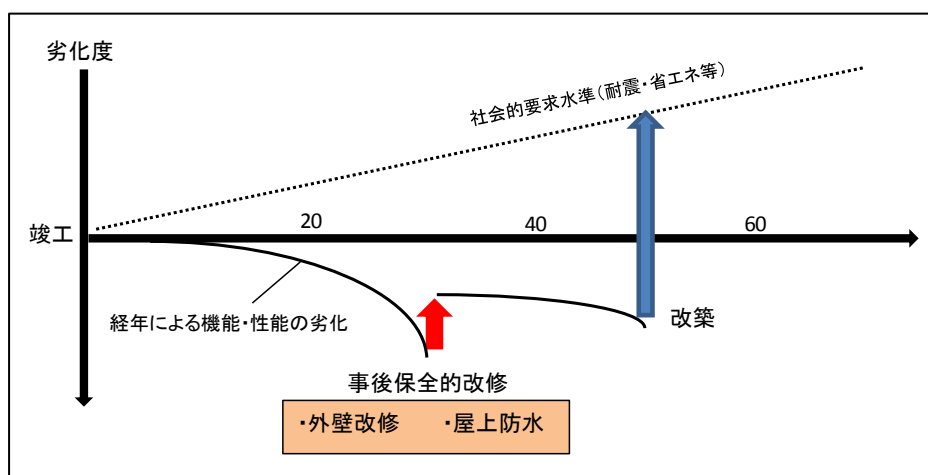
※建築物全体の望ましい目標耐用年数として、鉄筋コンクリート造学校の場合、普通品質で50～80年、高品質の場合は80～120年とされている(「建築物の耐久計画に関する考え方」社団法人日本建築学会 昭和63年)。

今後は、築年数が浅く建物の状態が健全なものについては、築20年で中規模改修、築40年で大規模改修を実施し、長期使用を目指します。

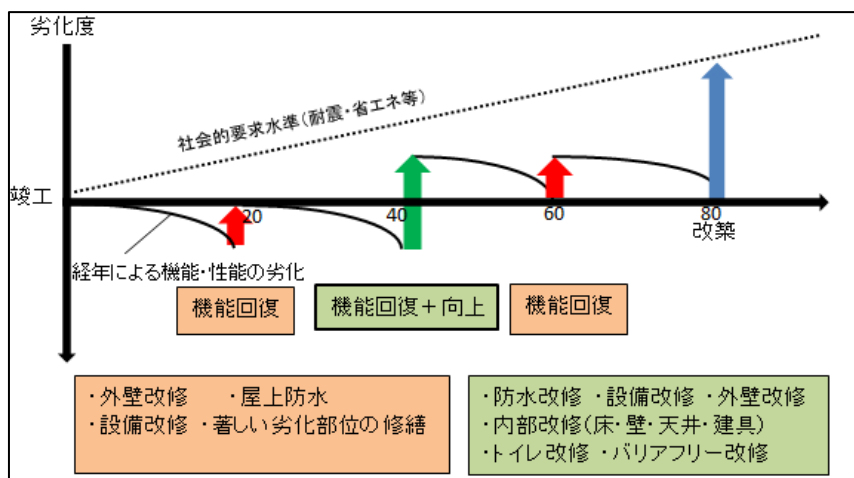
中規模改修では、屋上防水や外壁など建物の耐久性を高める工事を行います。大規模改修ではそれに加えて、トイレ改修やバリアフリー化などを適宜実施し建物の性能向上を図ります。

一方で、おおむね築後45年程度までが長寿命化改修を行う時期の目安とされていることから、現在築46年以上の建物については施設の利用実態や生徒数減少の動向等を踏まえて、改築を検討します。

【これまでの改築中心の保全イメージ】



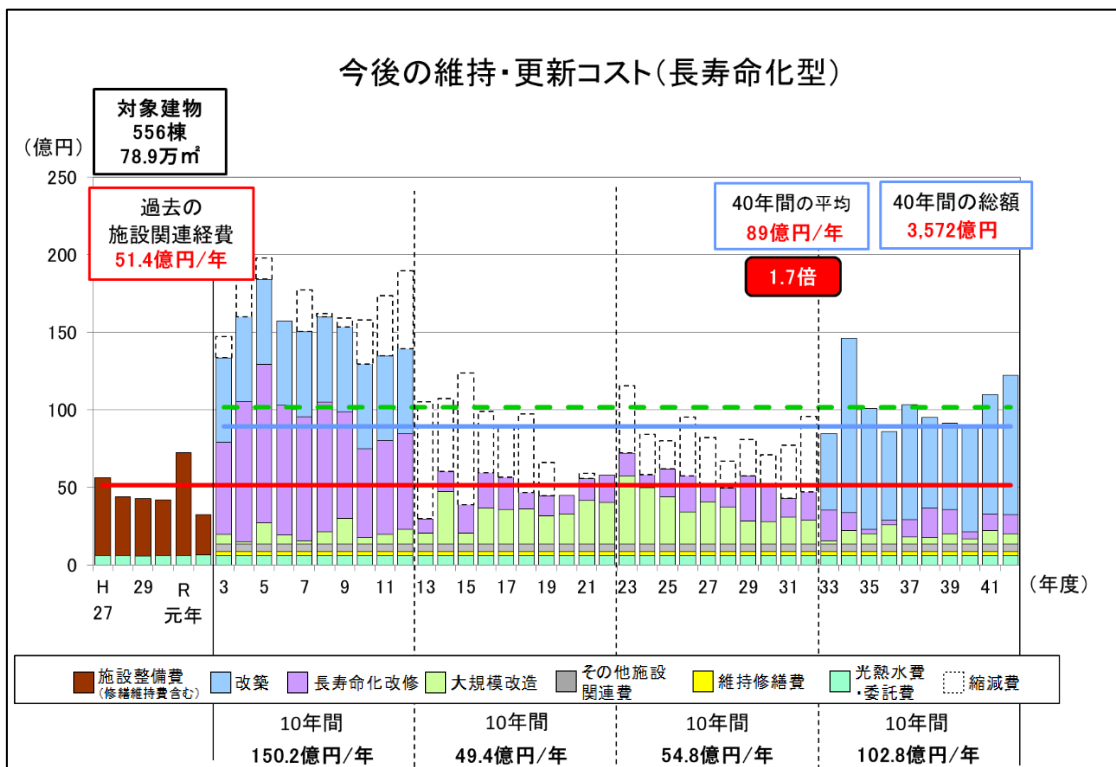
【長寿命化のイメージ】



建物の目標使用年数を80年として改修する場合のコストについて試算すると、今後40年間の事業費は3,572億円となる見込みで、全ての建物を築50年で建替える場合と比較すると約494億円の縮減効果がみられます。

しかし、この場合でも今後10年間の事業集中期の年あたり事業費は150.2億円に上り、コスト削減や事業量の平準化が求められます。

【目標使用年数を80年として長寿命化を図った場合の今後40年間のコスト試算】



※試算条件

・築40年で長寿命化改修、築80年で改築すると設定(※その他はP5の試算条件と同一)

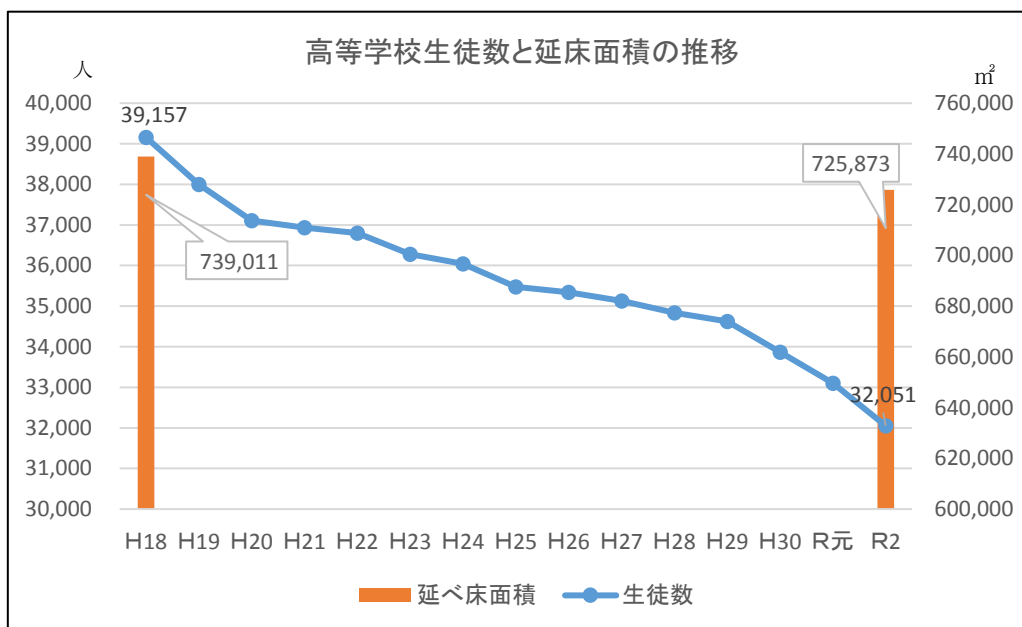
(2) 生徒数に応じた施設数や建物規模

① 高等学校

少子化の進行に伴い、県内高等学校の生徒数は直近のピークと比べ 56.4%減少しています(令和2年5月時点)。これまでに実施された再編整備によって、学校数は67校4分校(H16)から46校8分校(R2)と17校(△23.9%)減少しましたが、統合に伴い必要となった校舎を整備するなどした結果、延床面積は73.9万㎡(H18)から72.6万㎡(R2)と約1.3万㎡(△1.8%)減にとどまっています。

今後も生徒数の減少は続く見込まれるため、高等学校については必要な学校施設の数や規模について適正となるよう検討する必要があります。

【高等学校生徒数と延床面積の推移 (H18～R2)】



② 総合支援学校

今後、県全体の児童生徒数は横ばいで推移する見込みであるものの、教室不足は依然として続いており、近年は不用となった高等学校校舎を改修し高等部校舎として整備するなどの取組を進めているところでありこれからも引き続き教室不足解消に向けた整備を行う必要があります。

4 今後の整備計画(令和3年度～令和12年度)

計画の対象施設について、整備方針に基づき築年数を基準として改築・改修等を検討した場合、下表のようになります。

建物の長期使用を目指し、築20年・築40年で長寿命化改修(中規模・大規模改修)を実施し、次期改修までの期間は、基本的には随時補修により老朽化による不具合に対応します。

【改築・改修等の検討対象建物（R2年度時点）】

築年数	対象校舎建築年度	手法	対象棟数
46年～	S49～	改築	240棟
40～45年	S50～S55	随時補修	108棟
30～39年	S56～H2	大規模改修	122棟
20～29年	H3～H12	随時補修	51棟
10～19年	H13～H22	中規模改修	49棟

(1) 改築

① 実施順位

対象となる建物のうち、既に築50年を経過し、長寿命化改修に適さない校舎・屋内運動場等を多く保有する学校を優先的に整備対象校として検討します。

なお、「県立高校再編整備計画」の対象校など今後の方向性が決まっている学校については、再編整備の内容に応じて、別途、実施時期や実施内容を調整します。

② 実施方法

改築が決まった学校については、学校関係者や関係各課と意見交換を行い、営繕部局から技術支援を得るなどして全体的な整備の方向性を「基本計画」として作成します。

その際、経費や学校運営上の負担を軽減するため、できる限り仮設校舎を用いずに工事を行う方法を検討し、また建替え後の校舎については安易に建替え前と同規模とせず生徒数に見合った運用が可能な建物規模を計画します。

【計画期間（R3～R12）で改築を検討する施設】

R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
160棟	35棟	8棟	26棟	12棟	18棟	15棟	13棟	17棟	16棟

(2)長寿命化改修(中規模・大規模改修)

① 実施順位

基本的に築年数を基準として改修の優先度を検討します。但し、県立高校将来構想の内容等を踏まえ、必要に応じ改修時期等を調整します。

② 実施方法

建物を長く使用する(目標使用年数80年)ために、築20年で中規模改修(屋上防水、外壁など)、築40年で大規模改修(給排水管などの設備更新、内部改修)を実施します。大規模改修では建物の耐久性を高める工事に加え、近年の教育内容・方法への対応やバリアフリー化など、建物の機能や性能を向上させるための工事を行います。

【計画期間（R3～R12）で中規模改修（築20年）を検討する施設数】

R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
3校	2校	3校	3校	2校	5校	3校	4校	4校	4校
3棟	2棟	7棟	4棟	2棟	5棟	8棟	4棟	6棟	6棟

【計画期間（R3～R12）で大規模改修（築40年）を検討する施設数】

R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
8校	10校	18校	9校	7校	6校	5校	5校	7校	6校
11棟	16棟	24棟	9棟	13棟	6棟	5棟	5棟	8棟	8棟

【長寿命化改修のメニュー】

長寿命化改修	中規模改修(築20年毎)	設備改修(空調、EV) 外部改修(屋上、外壁)
	大規模改修(築40年毎)	設備更新(受変電、給排水) 内部改修(床、天井、建具) 外部改修(屋上、外壁) その他(トイレ、バリアフリー化)

5 計画の継続的運用方針

(1) 推進体制の整備と情報の活用

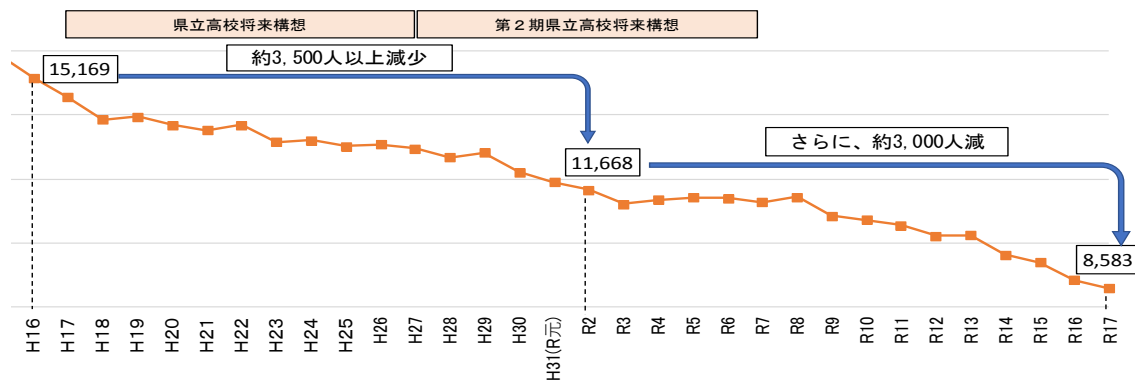
学校施設を厳しい財政状況下で適切に維持管理していくため、学校と協力しながら、劣化状況や施設利用の実態等について把握し、工事の実施や技術的支援を行う営繕部局と連携し整備を進めます。

また施設の定期的な点検・診断を着実に実施し、劣化状況や修繕履歴などの情報を今後の改修の優先順位や改修部位の検討に活用します。

(2) 県立高校将来構想を踏まえた計画の見直し

今後、これからの15年間で、中学校卒業見込者数はさらに約3,000人減少すると見込まれており、整備方針として、老朽化対策、教育環境の向上を図りながらも生徒数に応じた適正な建物規模を検討し、建物の更新及び維持管理費用の抑制を図る必要があります。

【中学校卒業見込者数の推移】



【高校教育課調べ】

生徒数減少に伴う学校施設の適正規模・適正配置については、県立高校将来構想を踏まえ検討します。また県の財政状況により事業の実施時期を調整するなど、状況に応じ計画の見直しを行います。

6 参考資料

【用語の定義と解説】

長寿命化	建物を将来にわたって長く使い続けるため、耐用年数を延ばすこと。
保全	建物や設備が完成してから取り壊すまでの間、その性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けること。保全のための手段として、点検・診断、改修等がある。
事後保全	老朽化による不具合が生じた後に修繕等を行う、事後的な保全のこと。
維持管理	建物や設備の性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けるため、建物や設備の点検・診断を行い、必要に応じて建物の改修や設備の更新を行うこと。
更新	既存の建物や設備を新しく改めること。建物の場合は、「改築」と同義ととらえてよい。
改築	老朽化により構造上危険な状態にあつたり、教育上、著しく不適当な状態にあつたりする既存の建物を「建て替える」こと。
改修	経年劣化した建物の部分又は全体の原状回復を図る工事や、建物の機能・性能を求められる水準まで引き上げる工事を行うこと。
修繕	経年劣化した建物の部分を、既存のものと概ね同じ位置に概ね同じ材料、形状、寸法のものを用いて原状回復を図ること。
長寿命化改修	長寿命化を行うために、物理的な不具合を直し耐久性を高めることに加え、機能や性能を求められる水準まで引き上げる改修を行うこと。

(文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」より)

【該当年度に築50年(以上)となる建物一覧表】

年度	高等学校等 (棟名称)	総合支援学校 (棟名称)
R3 (160棟)	<p>周防大島【安下庄】 (屋内運動場、特別教室棟、武道場) 岩国 (普通教室棟 (2)、特別教室棟 (2)、男子普通教室棟、屋内運動場、特別教室、本館棟、音楽教室、柔剣道場)、高森 (特別教室・昇降場、美術・音楽教室、屋内運動場、武道場)、岩国商業<東> (本館棟)、岩国工業 (理科教室、製図室その他、金属実習室、普通教室 (2)、本館棟、昇降場、実習室)、柳井(管理棟、体育館、音楽教室)、柳井商工(管理棟、建築実習棟、普通教室棟、昇降場棟)、熊毛南(普通教室棟、本館棟、昇降場)、田布施農工(作物畜産実習棟、農業実習棟、酒造実習棟)、光 (管理棟、体育館、格技場)、下松 (体育館)、下松工業 (機械実習棟、機械電気実習棟、化学工業実習棟、屋内運動場、柔剣道場)、徳山 (特別教室棟、普通教室棟、昇降場棟)、徳山商工 (化学工学実験室、普通教室棟、管理棟、昇降場棟 (2)、屋内運動場、化学実習棟)、南陽工業(化学実習棟、機械実習棟 (2)、体育館兼格技場)、防府 (普通教室棟、理科教室棟、本館棟、昇降場棟、特別教室棟、衛生看護科教室棟)、防府商工 (管理棟、体育館1、特別教室棟)、山口 (普通教室棟、屋内運動場、管理棟、渡り廊下 (2))、宇部中央 (家庭科教室・実験実習室棟、柔剣道場)、宇部商業 (講堂体育館、商業科特別教室、柔剣道場及び美術・書道教室)、宇部工業(化学工業・電子機械実習室、本館棟、渡り廊下 (4)、普通教室棟、体育館)、厚狭【北】 (屋内運動場、普通教室・特別教室棟、管理棟、渡り廊下)、美祢青嶺 (体育館)、田部 (普通教室棟、管理棟、渡り廊下、屋内運動場)、西市 (作業室棟)、豊浦 (屋内体育館)、長府 (屋内運動場、普通教室棟、特別教室棟、渡り廊下)、下関西 (特別教室棟)、下関南(管理棟、音楽教室)、下関北 (教室棟、普通教室・特別教室棟)、下関双葉 (管理棟、普通教室棟、多目的棟、屋内運動場)、下関工科 (普通教室棟)、大津緑洋【大津】(普通教室棟、本館棟、昇降場棟 (2)、屋内運動場)、大津緑洋【日置】 (普通教室棟、農業実習棟、管理棟、特別教室棟、農場更衣室、農機具実習室 (2)、畜産実習室</p>	<p>防府 (管理棟、廊下、小学部棟、訓練棟、中学部棟、寄宿舍 (2)、食堂棟、特別教室棟、屋内運動場)、山口南 (屋内運動場、管理棟、ルーム棟、児童南棟、サービス棟、昇降場棟)、宇部 (体育館)、豊浦 (普通教室、管理特別教室棟)</p>

	(4)、屋内体育館・柔剣道場)、 大津緑洋【水産】 (漁業 機関科実習棟)、 萩 (普通教室棟)、 萩<奈古> (普通教 室棟、渡り廊下、管理棟、体育館、実習棟)、 萩商工 (体 育館)	
R4 (35棟)	周防大島【久賀】 (本館棟)、 岩国<坂上> (柔剣道場)、 岩 国工業 (柔剣道場、機械実習棟)、 柳井商工 (柔剣道場、 機械実習棟、機械・電子実習棟)、 熊毛南 (屋内運動場)、 田布施農工 (屋内運動場)、 山口農業 (普通教室棟、渡 り廊下、生活科実習室、農場管理室、農場機械実習室、 生徒作業準備室、林業科実習室(2)、管理・特別教室 棟、農芸化学実習室、昇降場棟、農業土木実習室、生 徒作業準備室、牛舎)、 宇部 (特別教室棟)、 宇部商業 (普通教室棟)、 美祢青嶺 (柔剣道場)、 豊浦 (柔剣道 場)、 下関工科 (機械科実習棟、電気科実習棟)、 萩 (特 別教室棟)、 萩商工 (柔剣道場)	防府 (普通教室・特別教 室、寄宿舍)、 豊浦 (寄宿 舎、食堂棟)
R5 (8棟)	岩国工業 (金属工業実習室)、 田布施農工 (農具実習棟)、 徳山 (普通教室棟)、 徳山商工 (特別教室棟、柔剣道場)、 宇部中央 (視聴覚教室)、 下関北 (体育館)、 下関工科 (機械科実習棟)	
R6 (26棟)	周防大島【久賀】 (武道場、普通教室棟、昇降場棟)、 岩 国<坂上> (体育館)、 岩国工業 (特別教室)、 柳井商工 (屋内運動場)、 熊毛南 (柔剣道場)、 田布施農工 (武 道場、本館棟)、 防府 (柔剣道場、普通教室棟)、 山口 農業 (柔剣道場、農林生活実習室、体育館、畜産加工 実習室、鶏舎採卵棟、寄宿舍)、 宇部商業 (特別教室棟、 商業実習棟)、 小野田工業 (機械科実習室)、 下関北 (管 理・特別教室棟、昇降場棟)、 大津緑洋【水産】 (武道場、 機関科実習棟)	宇部 (寄宿舍)、 豊浦 (屋 内運動場)
R7 (12棟)	岩国商業 (武道場、本館棟)、 田布施農工 (特別教室棟)、 南陽工業 (電気実習棟)、 防府 (特別教室棟)、 美祢青 嶺 (機械科実習棟)、 大津緑洋【大津】 (武道場)、 大津 緑洋【水産】 (普通教室棟)、 萩 (特別教室棟)、 萩<奈古> (剣道場)、 萩商工 (実習室)	田布施 (小学部棟)
R8 (18棟)	周防大島【安下庄】 (特別教室棟※旧管理棟)、 高森 (普 通教室棟)、 岩国商業 (屋内運動場)、 光 (普通教室棟、	田布施 (管理棟、屋内運 動場、食堂棟)

	特別教室棟)、 下松工業 (特別教室棟)、 山口 (特別教室棟)、 宇部商業 (本館棟)、 西市 (昇降場、普通教室棟、柔剣道場)、 下関工科 (本館棟)、 大津緑洋【水産】 (機関科実習棟、水産科実習棟、渡り廊下)	
R9 (15棟)	岩国総合 (普通教室棟、特別教室棟、昇降場・部室)、 小野田 (普通教室棟)、 西市 (特別教室棟)、 大津緑洋【水産】 (管理棟、昇降場棟、渡り廊下)	下関南 (小学部教室 (3)、管理棟、中学部高等部教室、昇降口棟、高等部教室棟)
R10 (13棟)	岩国総合 (屋内運動場)、 宇部工業 (電気科実習棟)、 小野田 (特別教室棟)、 田部 (柔剣道場)、 西市 (本館棟、農業機械実習室、農場管理実習棟)	田布施 (普通教室棟、寄宿舎)、 下関南 (特別教室、幼稚部教室棟、屋内運動場、寄宿舎)
R11 (17棟)	下松 (特別教室棟)、 新南陽 (普通教室棟、特別教室棟、図書室棟)、 山口農業 (農業実験実習室)、 宇部西 (格技場、農業機械実習室、造園施工実習室、特別教室・普通教室棟)、 小野田工業 (体育館、渡り廊下)、 西市 (農場管理実習棟)、 下関工科 (体育館)、 萩〈奈古〉 (豚舎、鶏舎)	田布施 (特別教室棟、実習棟)
R12 (16棟)	岩国総合 (管理棟、柔剣道場)、 下松 (本館棟、昇降場棟)、 熊毛北 (普通教室棟、昇降場棟、特別教室棟)、 新南陽 (本館棟、昇降場棟、体育館)、 防府西 (本館棟・教室棟、柔剣道場、特別教室・渡り廊下)、 宇部西 (園芸実習室、普通教室・特別教室棟、渡り廊下)	

【該当年度に築40年となる建物一覧表】

年度	高等学校等 (棟名称)	総合支援学校 (棟名称)
R3 (11棟)	柳井 (普通教室棟)、熊毛北 (屋内運動場、管理特別教室棟)、防府西 (屋内運動場、渡り廊下)、宇部中央 (教室棟)、西市 (屋内運動場)、大津緑洋【日置】 (食品加工実習室)、萩<奈古> (農業実習棟)	岩国 (管理棟、小学部棟)
R4 (16棟)	岩国総合 (普通教室棟)、熊毛北 (武道場)、新南陽 (武道場・音楽教室棟)、宇部中央 (教室棟、昇降場)、宇部西 (食品加工収納調整実習棟、管理特別教室棟、屋内運動場)、厚狭【北】 (家庭科教室棟)、下関西 (管理普通教室棟、特別教室棟)、大津緑洋【水産】 (栽培漁業科実習棟)	岩国 (普通教室特別教室棟)、下関 (管理特別教室棟、普通教室特別教室棟、屋内運動場)
R5 (24棟)	岩国総合 (音楽教室)、柳井 (特別教室棟)、熊毛南 (普通特別教室棟)、下松 (武道場)、宇部中央 (特別教室棟)、宇部西 (造園施工実習棟、果樹農業実習棟)、宇部工業 (機械科実習棟 (2))、西市 (農業実習室)、長府 (普通教室特別教室棟)、下関西 (普通教室棟)、下関双葉 (作業棟)、大津緑洋【日置】 (特別教室棟)、萩 (普通教室棟、渡り廊下棟)、萩<奈古> (機械実習棟、作物実習棟)	岩国 (屋内運動場)、防府 (職員室棟)、山口南 (本館棟、実習棟、実習棟)、萩 (本館棟)
R6 (9棟)	高森 (管理棟)、岩国商業 (教室棟)、下松 (音楽教室棟)、南陽工業 (機械実習棟)、防府商工 (特別教室棟)、宇部商業 (家庭商業教室棟)、萩 (武道場)	山口南 (幼稚部棟)、萩 (屋内運動場)
R7 (13棟)	西京 (普通教室棟、渡り廊下 (2)、特別教室棟、屋内運動場、管理特別教室棟、寄宿舍男子)、宇部 (特別教室普通教室棟)、宇部商 (屋内運動場)、下関南 (特別教室棟)、下関工科 (武道場)、萩<奈古> (特別教室棟)	山口<みほり> (特別教室棟)
R8 (6棟)	華陵 (普通特別教室管理棟)、西京 (特別教室棟)、宇部商業 (特別教室棟)、豊浦 (特別教室棟)	徳山 (普通教室棟)、下関 (普通教室特別教室棟)
R9 (5棟)	華陵 (屋内運動場)、西京 (寄宿舍女子)、小野田 (特別教室棟南)、厚狭【北】 (武道場)	徳山 (管理棟)
R10 (5棟)	岩国<坂上> (特別教室棟)、柳井 (武道場)、西京 (普通教室棟)、下関北 (武道場)	徳山 (屋内運動場)
R11 (8棟)	岩国<坂上> (本館棟)、岩国商業<東> (屋内運動場)、防府 (屋内運動場)、田部 (特別教室棟)、大津緑洋【日置】 (農業実習棟)	岩国 (高等部棟、特別教室棟) 防府 (普通教室棟)

R 12 (8棟)	田布施農工（特別教室棟）、宇部工業（武道場）	田布施高等部校舎（屋内運動場）、徳山（特別教室棟、普通教室棟）、下関（普通教室特別教室棟）、萩（高等部棟、実習棟）
--------------	------------------------	---

【該当年度に築20年となる建物一覧表】

年度	高等学校等（棟名称）	総合支援学校（棟名称）
R 3 (3棟)	柳井（普通教室棟）、宇部中央（管理・特別教室棟） 下関南（普通教室棟）	
R 4 (2棟)	徳山（多目的室棟）、山口農業（堆肥舎）	
R 5 (7棟)	長府（総合学科実習棟）、下関中等（管理普通教室棟、特別教室棟、屋内運動場、寄宿舎、食堂）	田布施（普通教室棟）
R 6 (4棟)	宇部（屋内運動場）、豊浦（管理棟、普通教室棟）、 大津緑洋【日置】（堆肥舎）	
R 7 (2棟)	岩国工業（屋内運動場）、下関南（屋内運動場）	
R 8 (5棟)	高森（普通・特別教室棟）、柳井（特別教室棟）、徳山 商工（便所棟）、防府商工（特別教室棟）、萩（本館棟）	
R 9 (8棟)	徳山商工（商業実習棟）、小野田工業（本館棟）、萩商 工（土木・建築・商業実習棟、渡り廊下棟、機械・電 気実習棟、機械実習室棟、管理棟、普通教室棟）	
R 10 (4棟)	柳井商工（特別教室棟）、美祢青嶺（普通教室棟）	岩国（普通教室棟）、萩（普通教室棟）
R 11 (6棟)	宇部工業（特別教室棟）、厚狭【北校舎】（特別教室棟）、 小野田工業（特別教室棟（3））、美祢青嶺（昇降場棟）	
R 12 (6棟)	防府商工（普通教室棟）、美祢青嶺（管理棟、実習棟）、 下関南（実習棟）	宇部（普通教室棟、実習棟）